



「疲れたときにホッと一息、心の栄養バランス供給源」
むげんだい

夢限大 ∞



ttp://www.kizu.ed.jp/kizu2-jhs/

木津川市立木津第二中学校

平成29年10月31日(火)

vol.24

木津Ⅱの気づき

生徒会の新しい取組がスタートしました。その名は、「木津Ⅱの気づき～みんなの気づきで“気づ木”を育てよう！～」です。早速、配膳室前には、皆さんから寄せられた“きづ木の実”が集まってきています。「トイレのスリッパを並べている人がいた」「ロッカーの荷物を整頓している人がいた」「大きな声であいさつをする人がいた」等々、順調に「気づ木」は育っているようです。これからも皆さんの力で、立派な木を育てていきましょう！



てんしのいもうと



先日行われた文化発表会のなかで、国語科の「弁論大会」がありました。各学年で選ばれた4人の代表者が、力強く熱い思いを語ってくれました。

今回はある一つの作文を紹介したいと思います。この作文は、家族への感謝の気持ちをつづる第10回「いつもありがとう作文コンクール」で、最優秀賞に輝いた作品です。「天使になった妹」への思いを綴った心打たれる作品を、まずは読んでみてください。

てんしのいもうと

ぼくには、てんしのいもうとがいます。よなか、ぼくは、おとうさんとびょういんのまちあいつにすわっていました。となりにいるおとうさんは、すこしこわいかおをしています。いつも人でいっぱいのびょういんは、よなかになるとこんなにしずかなんだなあとおもいました。すこしたってから、めのまへのドアがあいて、くるまですのったおかあさんとかんごしさんがでてきました。ぼくがくるまですをおすと、おかあさんはかなしそうに、はをくしはったかおをして、ぼくのてをぎゅっとにぎりました。

いえにつくころ、おそらはすこしあかるくなっていました。ぼくは一人っこのので、いもうとがうまれてくるのがとてもたのしみでした。おかあさんのおなかにいもうとがきたときいてから、まいにち、ぬいぐるみでおむつがえのれんしゅうをしたり、いもうとのなまえをかんがえたりしてすごしました。ごはんをたべたり、おしゃべりしたりわらったり、こうえんであそんだり、テレビをみたり、いままで三人でしていたことを、これからは四人でするんだなあとおもっていました。

でも、はるやすみのおわり、トイレでくつりしながらいないおかあさんを見て、これからも三人なのかかもしれないとおもいました。さみしくて、かなしかったけど、それをいったらおとうさんとおかあさんがこまるとおもっていえませんでした。

ほかほかのあたたかいひ、ぼくたちは、ぜんこうじさんへいきました。いもうととハイハイするためです。はじめて四人でおでかけをしました。ぼくは、いもうとがてんごくであそべるように、おりがみでおもちゃをつくりました。

「また、おかあさんのおなかにきてね。こんどはうまれてきて、いっしょにいろんなことしようね。」

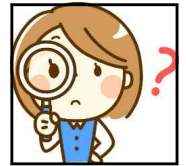
と、てがみをかきました。ぼくは、てをあわせながら、ぼくのおたりまへのまいにちは、**ありがとう**のまいにちなんだとおもいました。おとうさんとおかあさんがいることも、わらうことも、たべることやはなすことも、ぜんぶ**ありがとう**なんだとおもいました。それをおしえてくれたのは、**いもうと**です。ぼくのいもうと、ありがとう。おとうさん、おかあさん、ありがとう。いきていること、ありがとう。ぼくには、**てんしのいもうと**がいます。だいじなだいじないもうとがいます。

新潟県 1年 松橋一太

驚くことにこの作品は、**小学校1年生**が書いたものなんです。「てんしのいもうと」がお兄ちゃんに教えてくれたこと、それは「感謝」の気持ちだったんですね。あたりまえの毎日は「ありがとう」の毎日なんですね。とても大事なことに気づかされました。

あなたの探しているものは…？

人は探しているものに目がいきがちです。ハガキを出したいときには、郵便ポストに目が行きます。タクシーに乗りたいときには、町を走る車に目が行くものです。



ある男がある小さな町に、引っ越そうかと考えながらやってきた。彼はそこのガソリンスタンドで「ここにはどんな連中が住んでいるのかね」とたずねた。「そうですね、あなたの町に住んでいらっしゃるのとはどんな人たちですか？」係員はオイルを点検しながら、こう聞き返した。そこで男はソーダを一口飲むと「みんな、頑固で意地悪で嘘つきだよ」と答えた。すると、係員は顔をあげて「きつと、この人たちにも同じような思いを抱かれるでしょう」と答えた。

数週間後、品のよい男性がそのガソリンスタンドにやって来て、同じ質問をした。「おうかがいします。私はこの町に引っ越そうとを考えているのですが、こちらにはどんな人たちが住んでいるのでしょうか？」係員はやはり同じように、「そうですね、あなたの町に住んでいらっしゃるのとはどんな人たちですか？」とたずねた。その男性は一瞬考え「**みんな親切でまじめで正直な人たちばかりですよ**」と答えた。係員は顔を上げて「きつと、この人たちにも同じような思いを抱かれるでしょう」と言った。ここに真理がある。**人は自分の探しているものを見つけるものなのだ。**

「まじめに生きることを恥じることはない」 ジョン・ウッデン 著/ディスカヴァー・ツウェンティワン より

嫌なことばかり思っていたら、嫌なことを見つけるようになり、幸せだな～と思っていたら、幸せなことを見つけるようになります。社会のせいや、誰かのせいにして不満を語る人は、不満ばかりの日を過ごし、社会に感謝し、他人に感謝している人は、おそらく感謝したくなる日々を過ごすでしょう。世の中は、**自分が見ている世界と出会う**ようになっているのですね。

★キラキラ輝く中学生★

明日は**相楽音楽交流会**。出場できるのはたったの1クラス。全校生徒の思いを胸に秘め、中学生の代表として精一杯歌っててください。**3年3組**の皆さんの健闘を心より祈っています♪